

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社アシックス（証券コード: 7936）

【見直し変更】

長期発行体格付 A+
格付の見直し ネガティブ → 安定的

【据置】

債券格付 A+

■ 格付事由

- シリアスランナー向けランニングシューズを主力とするスポーツ用品メーカー。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会では、ゴールドパートナー（スポーツ用品）を務め世界にブランドを発信した。スポーツ工学研究所を設置し、独自の研究に基づく開発体制を整備しており、製品の品質や機能には定評がある。グローバルな販売基盤を構築し、ランニングシューズやテニスシューズの世界シェアは高い。当社は持株会社としての機能を有しており、グループの一体性が強い点を踏まえ、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- コロナ禍で落ち込んだ販売は各地域で増加に転じており、業績は急速に回復している。カテゴリー基軸の経営管理体制の下、ランニングシューズのラインナップの拡充や不採算部門の改善に注力しており、売上総利益率を高めながら売り上げを伸ばしている。世界的にランニング人口は増加しているとみられ、今後も販売は底堅く推移しよう。過去の最終赤字や自己株式の取得で、数年前よりも自己資本は減少しているが、一定の財務耐久力を有する。以上により、格付は据え置きとし、見直しをネガティブから安定的に変更した。
- 21/12 期の会社予想の売上高は 3,950 億円（前期比 20.1%増）、営業利益は 200 億円（前期は 39 億円の赤字）である。地域別では、ランニング専門店との連携強化などの施策を通じ、北米が足元で黒字転換するとともに、欧州の利益が大きく伸長している。カテゴリー別では、赤字が続くアパレル・エクイップメント部門の収支改善が進みつつある。販管費のコントロールも徹底されており、利益率の上昇に寄与している。コロナ禍に伴う生産委託先工場の一部における稼働停止が今後の業績にマイナスに作用する見通しだが、すでに工場は再稼働しており、悪影響の程度は限定的と考えられる。
- 21 年 9 月末時点の自己資本比率は 43.6%、ネット DER は 0.2 倍であり、財務体質は健全である。生産は外部委託を主としており、設備投資負担は比較的軽く、売掛債権の貸倒リスクに関しても現時点で大きな問題は生じていない。当社は中期経営計画で、利益体質の確立と資産効率の向上を通じた ROA の最大化に取り組んでいる。在庫量の適正化や手元資金の圧縮、利益の資本蓄積などの進展により、財務構成は中期的に改善に向かう公算が大きいと JCR ではみている。

（担当）窪田 幹也・佐藤 洋介

■ 格付対象

発行体：株式会社アシックス

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A+	安定的

【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 1 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	200 億円	2016 年 12 月 7 日	2021 年 12 月 7 日	0.140%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第3回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	150億円	2020年7月9日	2023年7月7日	0.040%	A+
第4回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	250億円	2020年7月9日	2025年7月9日	0.220%	A+

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2021年11月10日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：窪田 幹也
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社アシックス
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル